

# 農地中間管理事業転貸実績

## 3年度は過去最多74・6％

(一財)大阪府みどり公社(農地中間管理機構)は、令和3年度の農地中間管理事業実施実績を取りまとめた。

同事業での昨年度転貸実績は、

156経営体、74・6％で、このうち規模拡大で101経営体、35・2％、新規参入者で55経営体、39・4％。個人・法人別では個人で122経営体、27・1

％、法人で34経営体、47・5％。

74・6％の転貸実績は過去最多で、このうち農地中間管理機構関連農地整備事業を実施した豊能町高山地区、河南町加納・寺田地区において約21・8％の転貸実績があった。また、農業法人など大規模な

農業経営体には約13％が転貸され、地域の中心経営体への集積にも一定の成果が見られている。この他、令和2年度より新たに事業の対象区域となった市街化調整区域においても約3・5％と前年を大きく上回る転貸実績があった。

各市町村での周知活動で成果今後も有効な利用促進を農地中間管理事業の推進にあたっては、令和2年度に引き続き、農業会議、大阪府、大阪府みどり公社が連携し、農業委員会の総会などの機会を活用し、各市町村で周知活動を展開。広域的な利用促進に繋がったと考えられる。

大阪府みどり公社の担当者は、「来年度の制度改正により業務量の大幅な増加が想定されるため、関係機関のご協力や更なる連携強化により貸借手続きの円滑化等に努めたい」と話す。

大阪府みどり公社の担当者は、「来年度の制度改正により業務量の大幅な増加が想定されるため、関係機関のご協力や更なる連携強化により貸借手続きの円滑化等に努めたい」と話す。

# 和泉市アグリセンター開設 農林業活性化の拠点



式典には多くの来賓などが集まった

どの関係者が多数集まった。

あいさつに立った辻市長は「アグリセンターは、市農林業の活性化に向けた成長戦略拠点。和泉市が日本でもトップランナーとなるような事業展開をめざしたい」と強調した。

同センターの指定管理者として運営を担う株式会社エムスクエア・ラボ

ポの加藤百合子代表取締役は「農業、林業、工業の垣根を越えて取り組めば、新しく楽しいモノを生み出すことができる。ワクワクする場所にしていきたい」と話した。

同センターは、技術・人の両

# 新鮮な八尾えだまめを求めて 観光協会・JRが八尾駅で直売

(一社)八尾市観光協会とJR西日本は、7月13日から14日にかけて「八尾物語マルシェ」を開催。八尾えだまめの直売を行った。

「八尾物語」は、八尾の地域資源について五感で楽しむ体験プログラムで、昨年10月から同協会が実施。今回はその一環として地元の特産である「八尾えだまめ」に焦点を当てた企画として開催した。

市内での八尾えだまめの直売イベントは、コロナ禍の影響もあり実に3年ぶり。当日は、「八尾物語」のツアーパンフレットやJR八尾駅を特集した季刊誌「ヤオマニア夏号」の配布とともに、JA大阪中河内の協力のもと200キに及ぶ八尾えだまめや、JAが開発した「えだまめラテ」を直売した。両日とも1時間を待たずに見事完売した。

(二社)八尾市観光協会の担当者は、「八尾市は地域資源



「鮮度の高い八尾えだまめが買えるのは嬉しい」。3年ぶりの直売イベントに老若男女の消費者が訪れた

の豊富な街で、八尾えだまめそのひとつ。今後も農作物をはじめとした「八尾の魅力」を多くの方々に広めてゆきたい」と話す。

(沼田)